



LEICA Q3

LEICA Q3 43

LEICA Q3 MONOCHROM

FIRMWARE UPDATE 4.0.0

NEW

Q3 / Q3 43

- 人の目や顔などのオートフォーカス精度がAIモデルのサポートにより大幅に改善されました。
- トラッキングアルゴリズムが被写体追尾中にフォーカスフレームのサイズと形状を自動的に調整することができるようになり、より安定した信頼性の高い追尾が可能になりました。
- AFモードのメニュー構成が簡略化され便利に：測距モード多点とスポットが、共通メニュー（ゾーン / 多点 / フレーム / スpot）に統合されました。AF検出用の新メニューが、FNリストとコントロールセンターからでも利用可能に。AF検出機能(人間(目/顔/体) および動物(鳥、犬、オオカミ、猫、大型ネコ科動物など))も拡張されました。
- よく使うお気に入りのデジタルズーム倍率をファンクションボタンに割り当て、素早く呼び出せるようになりました。
- 新しいライカのユーザーインターフェースに対応しメニュー構造が新しくなり、すべての動画プロファイルを直接スクロールして選択できるようになりました。
- 新しいライカのユーザーインターフェースに対応し、コントロールセンターのデザインも新しくなり、メニューはすべてタッチ操作で操作できるようになりました。また Leica Look や モニター設定などの一部のメニュー項目は構成も新しくなりました。
- 新メニュー項目 バッテリーの状態 にてバッテリー (型番: BP-SCL6) の状態が確認できるようになりました。

JA

- Leica Lookメニューにて新たに強度の設定が可能になりました。
- 情報表示バーをカメラの向きに合わせ（縦向き/横向き）表示できるようになりました。

改善機能

Q3/Q3 43

- L-Log動画の品質が向上：色再現が最適化されより肌色がより自然になりました。

Q3/Q3 43/Q3 モノクローム

- Leica FOTOS Appへの接続改善されデータの読み込みや検索が高速化しました。
- USBマイクがWi-Fi接続時に使用できるようになりました。
- EU無線機器指令 (RED) 第3条 (3) に準拠しました。バージョン3.1.1より古いファームウェアからのアップデートでは、カメラとアプリの再ペアリングが必要です。
- メニュー項目AF認識方式がコントロールセンターのデフォルト設定に追加されました。
- 再生モード時の拡大表示機能が改善されました。再生モード時でダイヤルやファンクションボタンを使って拡大表示すると、AFフレームが自動的に中央に配置されるようになりました。AFフレームは表示されません。また、モニター上でダブルタップすると拡大表示することができます。焦点箇所が不明な場合は、まず中央部分が拡大表示され、その後最後に使用した箇所が保存されます。
- 標準のフラッシュ設定がデフォルトでオートではなくオンに変更されました。
- L-Log動画品質を改善し、ノイズ性能が向上しました。
- コントロールセンターのアイコン配置を統一しました：優先度に応じて個別の接続アイコン (Bluetooth/Wi-Fi/ケーブル) が表示されます。
- ファームウェア アップデート後に以前の設定がそのまま維持されるようになりました。ファームウェアバージョンが3.1.1より新しいものから最新バージョン4.0.0に更新する場合はすべての設定内容とユーザープロファイル、言語、日付と時刻も自動的に記録され、ファームウェアアップデート後にも再設定の必要はありません。
- グレー表示を改善：設定値がモニターとメニューに常に表示されるようになりました。
- 再起動時の起動時間が大幅に短縮されました。
- コントロールセンターのアイコンと基本設定が新しくなりました。
- メニュー項目記録形式と圧縮が統合され、一つのメニュー項目（記録形式）から両方の設定ができるようになりました。

ファームウェア アップデート

ライカは、製品の機能の向上や不具合の改善に継続的に取り組んでいます。デジタルカメラでは多くの機能がファームウェアで制御されており、お買い上げの後でも機能を追加したり不具合を改善したりすることができます。本製品をユーザー登録された方には、最新ファームウェアのリリース情報を随時お届けいたします。

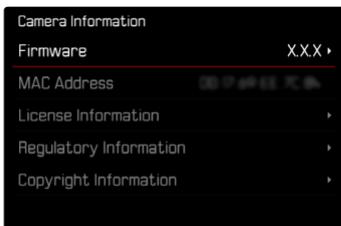
最新のファームウェアをダウンロードして、本製品をアップデートしてください。また、アプリ「Leica FOTOS」のユーザーは、ファームウェアのアップデート情報をアプリ内で自動的に受け取ることができます。

ファームウェアのアップデートは以下の方法で行うことができます。

- アプリ「Leica FOTOS」から (推奨)
- カメラメニューから

現在インストールされているファームウェアのバージョンを確認するには

- メインメニューで **カメラ情報** を選択する。
• メニュー項目 **ファームウェア** の隣に、バージョンが表示されます。



ファームウェアのアップデート情報、アップデートに伴う改善内容や追加機能、およびカスタマーダイアログについて詳しくは、以下のサイトからご覧いただけます。

<https://club.leica-camera.com>

ファームウェアをアップデートする

ファームウェア アップデートを中断すると、カメラに重大かつ修復不可能な損傷を与える可能性があります。

ファームウェアのアップデート中には以下の事項を順守してください。

- ・ カメラの電源を切らない。
- ・ メモリーカードを取り出さない。
- ・ バッテリーを取り出さない。

専用アプリ「Leica FOTOS」から

アプリ「Leica FOTOS」のホーム画面にてカメラのファームウェア・アップデート情報を受け取ることができます。

→ アプリ「Leica FOTOS」の指示に従う。

メモ

- ・ バッテリー残量が十分でない場合は、警告メッセージがモニターに表示されます。バッテリーを充電してからファームウェアをアップデートしてください。
- ・ アップデートはカメラメニューからもできます。

カメラメニューから

使用前の準備

- バッテリーを満充電し、カメラに入れる。
- メモリーカードに他のファームウェアが保存されている場合は、必要のないものを消去する。
 - ・ メモリーカードに保存されているすべての画像をバックアップしてから、カメラでフォーマットすることをお勧めします。
(注意:データ消失! フォーマットするとすべてのデータが削除されます。元に戻すことはできませんのでお気をつけください。)
- 最新のファームウェアをダウンロードする。
- メモリーカードに保存する。
 - ・ ファームウェアファイルは必ずメモリーカード最上位階層に保存してください。下位階層では読み込みができません。
- メモリーカードをカメラに挿入する。
- カメラの電源を入れる。

メモ

- ・ バッテリー残量が十分でない場合は、警告メッセージがモニターに表示されます。バッテリーを充電してからファームウェアをアップデートしてください。
- ・ カメラ情報のサブメニューにて国別に承認登録マークや番号を確認することができます。

カメラのファームウェアをアップデートする

- 準備する。
- メインメニューで **カメラ情報** を選択する。
- **ファームウェア** を選択する。
- **アップデートを開始** を選択する。
 - アップデートに関する情報とメッセージが表示されます。
- バージョン情報を確認する。
- **はい** を選択する。
 - **プロファイル情報を SDカードに記録しますか？** というメッセージが表示されます。
- **はい** または **いいえ** を選択する。
 - アップデートが自動的に開始します。
 - 処理中は LED ランプが点滅します。
 - 正常に完了すると、再起動を促すメッセージが表示されます。
- カメラの電源を入れなおす。

メモ

- 再起動後には、日付、時刻、言語を再設定する必要があります。確認メッセージが表示されます。
- Leica FOTOSからアップデートする場合は自動で設定されます。

AF測距方式

オートフォーカス設定時は、異なる測距方式が使用できます。ピントが合った場合AFフレームが緑色に変わり、ピントが合わなかった場合はAFフレームは赤色で表示されます。

初期設定：フレーム / スポット



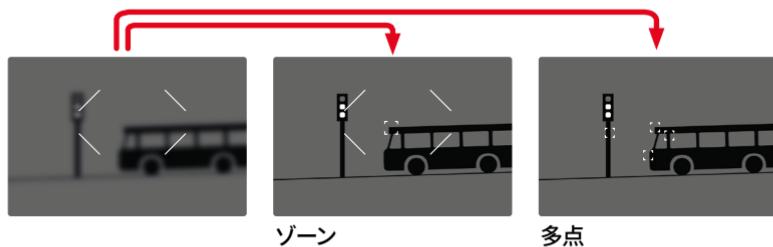
- メインメニューで**フォーカス**を選択する。
- **AFモード**を選択する。
- 希望する設定を選択する。
(**フレーム / スポット**、**ゾーン / 多点**、**トラッキング**)

メモ

- オートフォーカスでの撮影時に、ピントが合わないことがあります。
 - 撮影したい被写体までの距離が近すぎるまたは遠すぎるとき
 - 被写体が暗い場所にあるとき
- モニターをタップして測距点/AFフレームの位置を移動させることができます。
- ライカQ3モノクロームでは被写体追尾に必要な色情報がないため、測距方法**トラッキング**は使用できません。

ゾーン/多点測距

撮影範囲内の多くのポイントにピントを合わせることができます。範囲は、AFフォーカスエリアと同様にサイズを変更することができ、焦点範囲を柔軟に決めることができます。この機能は特にスナップショットに最適で、人物認識機能と組み合わせると非常に効果的です。



フレーム/スポット測距

測距点/AFフレームが設定されている範囲内のみで測距が行われ、ピントが合います。スポット測距時は1つの十字、フレーム測距時は小さなAFフレームが表示されます。スポット測距は、きわめて小さい部分にピントを合わせたい場合に使用します。設定可能な最小のフレームサイズはスポット測距枠と同様です。

フレーム測距は、一部の狭い範囲内にピントを合わせたい場合に使用します。

これらの測距方式は、ピントを合わせたい被写体が画面中央にない場合に連続して撮影を行う際、被写体にピントを合わせたまま撮影ができるのでとても便利です。測距点/AFフレームの位置を移動させることができます。

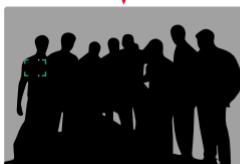
自動被写体認識

カメラは、人物や動物などさまざまな被写体を自動的に認識し、目、顔、体などに焦点を合わせます。被写体が動いたり、一時的に隠れたりした場合でも、メインの被写体に確実に焦点を合わせ続けることができるなど、あらゆる撮影状況において正確かつ継続的な追尾が可能です。

→メインメニューでAF認識方式を選択する。

→希望する設定を選択する。

(オフ、人(瞳/顔/全身)、Person人(瞳/顔)、動物(全身)、動物(瞳/全身))



顔認識時に目が検出された場合、その瞳に焦点が合います。複数の目が検出された場合は、どの目に焦点を合わせるかを選択することができます。現在選択されている瞳がハイライト表示されます。

→ セレクターボタンで希望する方向に移動させる。



AFモードとAF認識方式の組み合わせ

ゾーン/多点測距方式では、測距範囲内で検出されたすべての被写体の中からピントを合わせたい箇所を選択することができます。

→ セレクターボタンで希望する方向に移動させる。

- ・ 白枠は認識された被写体を示し、黄色枠は選択した被写体を示します。

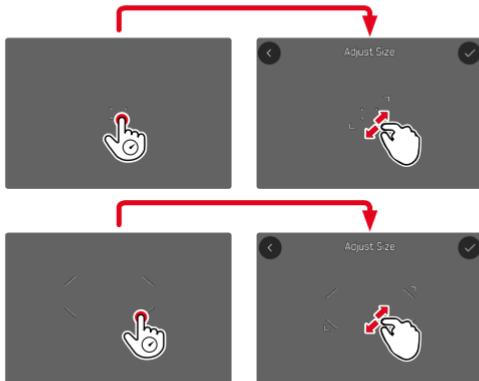


AFクイック設定

いくつかのAF測距方式ではフレームサイズをすばやく変更することができます。ライブビュー画像は、各種設定中も表示されます。

AFクイック設定を呼び出す

- モニターをロングタップ(ホールド)する。
 - ・すべての撮影補助表示が非表示になります。
 - ・測距方式が「フレーム」/「スポット」/「ゾーン」/「多点」に設定されている場合、フレームの枠が右上と左下に表示されます。



AFフレームのサイズを変更する

(フレーム/スポット、ゾーン/多点のみ)

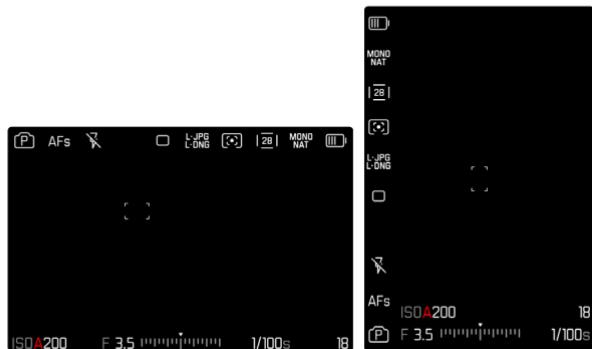
- サムホイールを回す。

または

- ピンチイン/ピンチアウトする。
 - ・AFフレームのサイズは、4段階で調整できます。
- 希望する設定を✓で確定する。

情報表示バーをカメラの向きに合わせる

撮影モード時、カメラの向きに合わせて自動的に情報表示バーの向き（縦表示/横表示）を切り替えることができます。設定内容がより見やすくなり便利です。

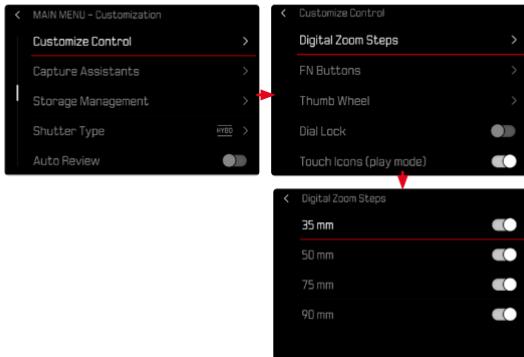


モニター

- メインメニューで**カメラ設定**を選択する。
- **モニター設定**を選択する。
- **情報表示バーを回転**を選択する。

デジタルズーム倍率メニューをカスタマイズする

よく使用するズーム倍率にすばやく切り替えられるようにメニューをカスタマイズすることができます。



- メインメニューで**カスタマイズ**を選択する。
- **デジタルズーム倍率**を選択する。
- 希望する倍率をオンまたはオフにする。
(Q3/Q3 モノクローム: **28 mm**、**35 mm**、**50 mm**、**75 mm**、**90 mm**)
(Q3 43: **60 mm**、**75 mm**、**90 mm**、**120 mm**、**150 mm**)

メモ

- ・ 必要に応じて静止画モードと動画モードで異なる設定を保存することができます。
- ・ デジタルズーム倍率の設定が素早くファンクションボタンからできるようになりました。メニュー項目**デジタルズーム**はなくなりました。

動画形式

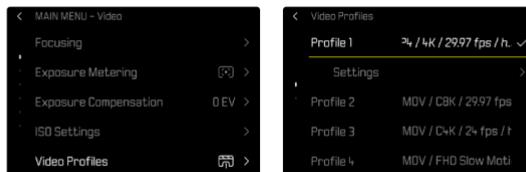
解像度とフレームレートは、様々な組み合わせが可能です。

動画形式を設定する

コントロールセンターから



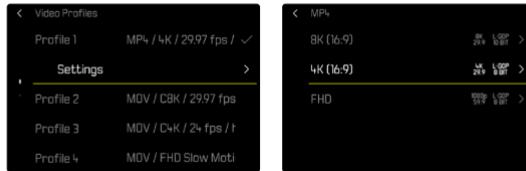
メニューで操作する



→ メインメニューで動画プロファイルを選択する。

→ 希望するプロファイルを選択する。

プロファイルを設定するには



→ メインメニューで動画プロファイルを選択する。

→ 希望するプロファイルを選択する。

→ 希望する形式を選択する。

(MOV、MP4)

→ 希望する記録画素数を選択する。

(MOV: C8K、8K、C4K、4K、FHD (ProRes)、FHD、FHD スローモーション)
(MP4: 8K、4K、FHD)

→ 希望するフレームレートを選択する。

LEICA LOOK

静止画と動画のプロパティは様々なパラメーターにより変更が可能です。これらはLeica Lookのプリセットにて設定することができます。さらに、専用アプリLeica FOTOSからその他のLeica Lookをダウンロードして使用することもできます。

プリインストールされているLookファイル：

- Standard
- Vivid
- Natural
- Monochrome
- Monochrome High Contrast

→メインメニューでLeica Lookを選択する。

→希望するプロファイルを選択する。

メモ

- ・動画ガンマの設定がオフの場合のみLeica Lookが使用可能です。それ以外の設定の場合は使えません。

LEICA LOOKをカスタマイズする

パラメータはプリインストールされている「Core Looks」シリーズのすべてのプロファイルで設定が可能です。

→メインメニューでLeica Lookを選択する。

→希望するプロファイルを選択する。

→カスタマイズを選択する。

Standard/Monochromeを設定する場合:

→コントラスト/ハイライトトーン/シャドウトーン/シャープネス/彩度を選択する。

→希望のレベルを選択する。

(-2、-1、0、+1、+2)

Vivid/Natural/Monochrome High Contrastを設定する場合:

→強度/コントラスト/ハイライトトーン/シャドウトーン/シャープネス/彩度を選択する。

→希望する強度またはレベルを選択する。

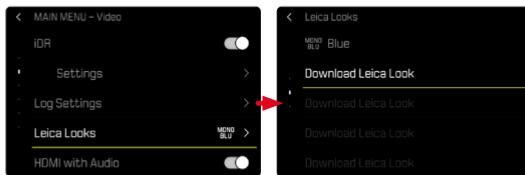
(-100%-100%/-2、-1、0、+1、+2)



LEICA LOOKをダウンロードする

専用アプリLeica FOTOSからその他のLeica Lookをダウンロードして使用することができます。

- メインメニューでLeica Lookを選択する。
- Leica Lookをダウンロードするを選択する。



メモ

- 追加でインストール可能なLeica Lookプロファイルではカスタマイズできるパラメータに制限があります。

LEICA LOOKをリセットする

- メインメニューでLeica Lookを選択する。
- 復元を選択する。



メモ

- カスタマイズしたLookファイルのみ変更前の状態に復元することができます。